学校番号	１０２

平成 31 年度　地理歴史科

教科	地理歴史科	科目	日本史Ｂ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	高校日本史Ｂ　新訂版　（実教出版）						
副教材等	図説　日本史通覧　（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史のつながりを意識し、過去、現在、未来の時間軸を感じる。
・歴史的事象に、その時代の空気感を想像しながら、「なぜ」「どうして」の視点を持つ。
・歴史を背景とした日本という国の諸事情を踏まえ、現在の世界の在り方を考える。

2　学習の到達目標

・諸資料に親しみ、歴史的思考力を養う。
・現代の諸課題を古代史から近現代史と結び付け、歴史のつながりを意識しながら、歴史的観点から考察することができる。
・日本の歴史を地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c: 資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	我が国の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	我が国の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	我が国の歴史を中心とする世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	我が国の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	ワークシート レポート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査
	〔主題学習〕 振り返りシート	〔主題学習〕 レポート 報告会での発表内容	〔主題学習〕 ポスター	〔主題学習〕 内容のまとまり
	※「主題学習」とは主題を設定して行う学習活動で、適切な時間を確保して行う。			

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	原始・古代の日本と東アジア	・歴史と資料	○	○			a:様々な歴史的資料の特性、それらの資料に基づいて歴史が叙述されていることに対する関心と課題意識を高め、追究している。 b:様々な歴史的資料の特性に着目して課題を見いだし、それらの資料に基づいて歴史が叙述されていることと関連付けて多面的・多角的に考察している。 c:様々な歴史的資料の特性に着目し、諸資料を活用することを通して、資料に基づいて歴史が叙述されていることについて追究し考察し、その過程や結果を適切に表現している。 d:様々な歴史的資料の特性に着目し、資料に基づいて歴史が叙述されていることと関連付けて理解し、その知識を身につけている。	ワークシート
		・日本文化のあけぼの	○		○		a:旧石器時代と縄文時代の人々の生活や社会、文化に対する関心と課題意識を高め、追究している。 b:旧石器時代と縄文時代の人々の生活や社会、文化から課題を見いだし、自然環境や大陸からの文化の影響と関連付けて多面的・多角的に考察している。 c:旧石器時代と縄文時代に関する遺物や写真等の諸資料を活用することを通して、人々の生活について追究し考察した過程や結果を適切に表現している。	定期考査 ワークシート

							d:旧石器時代と縄文時代の人々の生活や社会、文化についての基本的な事柄を自然条件の変化や大陸とのかかわりと関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	
2学期		・水稲農業の開始と社会生活の進展	○		○		a:弥生時代から古墳時代の社会の変化や人々の生活、国家の形成過程に対する関心と課題意識を高め、追究している。 b:弥生時代から古墳時代の社会の変化や人々の生活、国家の形成過程から課題を見いだし、東アジア世界の状況と関連付けて多面的・多角的に考察している。 c:弥生時代から古墳時代の遺物や中国史書などの諸資料を活用することを通して、社会の変化や国家の形成過程について追究し考察した過程や結果を適切に表現している。 d:弥生時代から古墳時代の社会の変化や人々の生活、国家の形成過程についての基本的な事柄を東アジア世界の状況と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
		・東アジア文化の影響と律令制度の成立			○	○	a:ヤマト政権による統一から奈良時代までの社会の変化や人々の生活、文化の特色に対する関心と課題意識を高め、追究している。 b:ヤマト政権による統一から奈良時代までの社会の変化や人々の生活、文化に課題を見いだし、国家形成と律令体制の確立過程、東アジア世界との交流などと関連付けて多面的・多角的に考察している。	定期考査 ワークシート

							c:ヤマト政権による統一から奈良時代までの社会の変化や人々の生活、文化に関する諸資料を活用することを通して、歴史的事象を追究する方法を身につけるとともに、追究し考察した結果を適切に表現している。 d:ヤマト政権による統一から奈良時代までの社会の変化や人々の生活、文化についての基本的な事柄を、国家形成と律令体制の確立過程、東アジア世界との交流などと関連付けて理解し、その知識を身につけている。	
		・摂関政治と国風文化	○	○			a:平安時代の社会の変化や人々の生活、文化の特色に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。 b:平安時代の社会の変化や人々の生活、文化に課題を見いだし、東アジア世界との関係の変化、地方における支配体制の動揺などと関連付けて、多面的多角的に考察している。 c:平安時代の社会の変化や人々の生活、文化に関する諸資料を活用することを通して、歴史的事象を追究する方法を身につけるとともに、追究し考察した結果を適切に表現している。 d:平安時代の社会の変化や人々の生活、文化についての基本的な事柄を、東アジア世界との関係の変化、地方における支配体制の動揺などと関連付けて理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート

2学期	中世の日本と東アジア	・中世社会の成立と文化の新機運		○		○	a:公領の変質と荘園の拡大、武士の台頭と院政・平氏政権から鎌倉幕府の成立・進展・衰退、鎌倉武士と農村、鎌倉文化に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。 b:公領の変質と荘園の拡大、武士の台頭と院政・平氏政権から鎌倉幕府の成立・進展・衰退、鎌倉武士と農村、鎌倉文化から課題を見いだし、公家政権・公家文化と関連付けて多面的・多角的に考察している。 c:公領の変質と荘園の拡大、武士の台頭と院政・平氏政権から鎌倉幕府の成立・進展・衰退、鎌倉武士と農村、鎌倉文化に関する文献、絵画、建築などの諸資料を活用することを通して、歴史的事象を追究する方法を身につけるとともに、追究し考察した結果を適切に表現している。 d:公領の変質と荘園の拡大、武士の台頭と院政・平氏政権から鎌倉幕府の成立・進展・衰退、鎌倉武士と農村、鎌倉文化についての基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート
		・武家社会の展開と室町文化	○		○		a:建武の新政、室町幕府の成立と南北朝の動乱から戦国時代までの社会の変化や人々の生活、文化の特色に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。 b:建武の新政、室町幕府の成立と南北朝の動乱から戦国時代までの社会の変化や人々の生活、文化に課題を見いだし、日本の諸地域の動向、東アジア世界との交流、庶民の台頭と関連付けて多面的・	定期考査 ワークシート

							多角的に考察している。 c:建武の新政、室町幕府の成立と南北朝の動乱から戦国時代までの社会の変化や人々の生活、文化に関する諸資料を活用することを通して、歴史的事象を追究する方法を身につけるとともに、追究し考察した結果を適切に表現している。 d:建武の新政、室町幕府の成立と南北朝の動乱から戦国時代までの社会の変化や人々の生活、文化についての基本的な事柄を、日本の諸地域の動向、東アジア世界との交流、庶民の台頭と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	
		・歴史の解釈		○	○		a:考古史料、文献資料、絵画資料や現代に引き継がれる地域の伝統行事などについて、関心と課題意識を高め、追究している。 b:考古史料、文献資料、絵画資料や現代に引き継がれる地域の伝統行事などに接して課題を見いだし、文化財保護の重要性と関連付けて多面的・多角的に考察している。 c:考古史料、文献資料、絵画資料や現代に引き継がれる地域の伝統行事などに接することを通して、文化財保護の重要性について追究し考察し、その過程や結果を適切に表現している。 d:考古史料、文献資料、絵画資料や現代に引き継がれる地域の伝統行事などについての基本的な事柄を、文化財保護の重要性と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	ワークシート

	近世の日本と世界	・幕藩体制の展開と近世文化		○		○	a:織豊政権から幕藩体制の確立に至る統一過程や支配構造、さらには近世初期の文化に対して関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。 b:織豊政権から幕藩体制の確立に至る統一過程や支配構造、さらには近世初期の文化から課題を見いだし、ヨーロッパ諸勢力との接触と鎖国による対外関係と関連付けて、多面的・多角的に考察している。 c:織豊政権から幕藩体制の確立に至る統一過程や支配構造、さらには近世初期の文化に関する文献、絵画、地図の諸資料を活用することを通して、歴史的事象を追究する方法を身に付けるとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現している。 d: 織豊政権から幕藩体制の確立に至る統一過程や支配構造、さらには近世初期の文化についての基本的な事柄をヨーロッパ諸勢力との接触と鎖国による対外関係と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
		・幕藩体制の動揺と文化の成熟		○		○	a:文治政治への転換と幕政改革の断行、町人文化の形成の特質に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。 b:文治政治への転換と幕政改革の断行、町人文化の形成の特質から課題を見いだし、欧米列強のアジアへの進出とその影響、その後の対外関係や支配構造の変化と関連付けて、多面的・多角的に考察している。	定期考査 ワークシート

							c:文治政治への転換と幕政改革の断行、町人文化の形成の特質に関する文献、絵画、統計・グラフなどの諸資料を活用することを通して、歴史的事象を追究する方法を身に付けるとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現している。 d:文治政治への転換と幕政改革の断行、町人文化の形成の特質についての基本的な事柄を欧米列強のアジアへの進出とその影響、その後の対外関係や支配構造の変化と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	
		歴史の説明	○	○			a:歴史事象には様々な歴史的解釈があることを、主題を設定して、主体的に追究している。 b:歴史事象には様々な歴史的解釈があることを、主題を設定して追究し、歴史的事象を時間軸・空間軸の中で多面的多角的に考察している。 c:歴史事象には様々な歴史的解釈があることを、主題を設定し、諸資料を活用することを通して追究する方法を身に付けるとともに、追究し考察した結果を適切に表現している。 d:歴史事象には様々な歴史的解釈があることを、主題を設定し、諸資料を活用することを通して理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート
	近代日本の形成と世界	・近代への転換	○			○	a:幕藩体制の崩壊から中央集権的国家体制の成立にいたる過程について、課題意識を高め、意欲的に追究している。 b:幕藩体制の崩壊から中央集権的国家体制の成立にいた	定期考査 ワークシート

							る過程について、課題を見いだし、世界史的背景と関連付けて多面的多角的に考察している。 c:幕藩体制の崩壊から中央集権的国家体制の成立にいたる過程に関する文献、統計などの諸資料を活用することを通して、歴史的事象を追究する方法を身に付けるとともに、追究し考察した結果を適切に表現している。 d:幕藩体制の崩壊から中央集権的国家体制の成立にいたる過程について、基本的な事柄を、世界の動向と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	
		・近代国家の形成	○	○			a:世界史的視野を意識しながら、立憲政の成立から日露戦争後までの近代国家の展開過程について、関心と現代に通じる課題意識を高め、意欲的に追究している。 b:世界史的視野を意識しながら、立憲政の成立から日露戦争後までの近代国家の展開過程について、課題を見いだし、多面的多角的に考察している。 c:立憲政の成立から日露戦争後までの近代国家の展開過程に関する文献、映像、統計などの諸資料を活用することを通して、歴史的事象を追究する方法を身に付けるとともに、追究し考察した結果を適切に表現している。 d:立憲政の成立から日露戦争後までの近代国家の展開過程に関する基本的な事柄を、世界の動向と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート

3学期	両世界大戦期の日本と世界	・両大戦間の日本と市民文化		○	○		a:第一次世界大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響や政党政治の成立と市民文化の形成に対する関心と現代に通じる課題意識を高め、意欲的に追究している。 b:第一次世界大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響や政党政治の成立と市民文化の形成から課題を見いだし、世界の動向と関連付けて多面的多角的に考察している。 c:第一次世界大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響や政党政治の成立と市民文化の形成に関する文献、映像、統計などの諸資料を活用することを通して、歴史的事象を追究する方法を身に付けるとともに、追究し考察した結果を適切に表現している。 d:第一次世界大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響や政党政治の成立と市民文化の形成についての基本的な事柄を、世界の動向と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
		・十五年戦争と日本		○	○		a:十五年戦争について、国際社会の動向、国内の政治・経済の動向などと関連付けながら、関心と現代に通じる課題意識を高め、意欲的に追究している。 b:十五年戦争について、国際社会と国内の政治・経済の動向などと関連付けながら課題を見いだし、アジア諸国との関係にも動向に着目して多角的多面的に考察している。 c:十五年戦争について、国際社会と国内の政治・経済の動向と関連付けながら文献、映像、統計などの諸資料を活用することを通して、歴史的	定期考査 ワークシート

							事象を追究する方法を身に付けるとともに、追究し考察した結果を適切に表現している。 d:十五年戦争について基本的な事柄を、国際社会と国内の政治・経済の動向と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。	
		・現代の日本と新しい文化		○		○	a:戦後日本の歩みと世界情勢の推移についての関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。 b:戦後日本の歩みと世界情勢の推移について、相互の動きを関連付けて多面的多角的に考察している。 c:戦後日本の歩みと世界情勢の推移に関する文献、映像、統計などの諸資料を活用することを通して、歴史的事象を追究する方法を身に付けるとともに、追究し考察した結果を適切に表現している。 d:戦後日本の歩みと世界情勢の推移についての基本的な事柄を、世界の動向と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
		・歴史の論述	○	○			a:地域社会の歴史と文化についての関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。 b:地域社会の歴史と文化について、地域の自然条件や政治的・経済的な諸条件と関連付けて、多面的多角的に考察している。 c:地域社会の歴史と文化について、博物館などの施設を活用したり、諸資料を活用することを通して、歴史的事象を追究する方法を身に付けるとともに、追究し考察した結果を適切に表現している。	定期考査 ワークシート

							d:地域社会の歴史と文化について、博物館などの施設や諸資料を活用するなどして理解し、その知識を身につけている。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。